



若鮎の子

国頭村立 安波小学校

国頭村字安波601番地

TEL 0980-41-7556

FAX 0980-41-7558

学校だより 平成31年2月15日 第30号

文責：校長



少し遅咲きのサクラが、ようやく満開になりました。日に日に寒さもやわらいで、季節は「春」へ向かっているようです。気がつけば、平成30年度も、残り1ヶ月ですね。安波小学校では、それぞれの学年で、今年度のまとめの学習に入ります。特に6年生にとっては、小学校生活が、残り1ヶ月となりました。希望あふれる卒業式へ向けて、ラストスパートの時期ですね。



生きものをしらべたよ！



2月12日(火)、ウフギー自然館とやんばるまなびの森の職員をお招きして、生きものしらべを行いました。昨年までは「プレイバック調査」というタイトルで、ヤンバルクイナに焦点を当てて行っていた活動です。ヤンバルクイナの鳴き声を音源で流し、それに鳴き返す声を調べ、その数や、いる場所を記録する学習です。今回は、生きものを広くとらえて、「安波区、安波小学校周辺の、ヤンバルクイナなどの、生きものしらべ」と設定し学びます。まずは、教室内で安波っ子が日頃の生活の中で、感じている、気づいている「生きもの」を出し合います。ヤンバルクイナ、ノグチゲラ、カラス、メジロ、アカショウビン、キノボリトカゲ、コウモリ・・・どんどん出てきます。いろいろな生きものが、身近にいます。その後、学校周辺を歩いてみます。そこで、教えてもらいながら確認したのは、カラスの鳴き声、生きものが草をめくったあと、砂場の足あと、カラスがミカンを食べたあと、そしていらぬ食べ物を口から吐き戻したあと。一番のポイントは、「ノグチゲラの巣穴」でした。プールの裏からすぐ見える場所にあったのです。次に、ヤンバルクイナの鳴き声を流してみました。今回は残念なことに、まったく鳴き返しがありませんでした。でも、実際の調査では、よくあることのように。根気が必要です。それから教室に戻り、ふりかえりです。授業の初めより、生きものへの興味が高まったようです。ヤンバルクイナを含めて、いろいろな生きものがヤンバルの自然の中に生きています。毎日出会うので、当たり前になりますが、「この声は」とか「この飛び方は」とか「この足あととは」とか、視点を持ちながら安波をヤンバルを見つめるといいですね。もっともっと、安波のことを好きになるでしょう。



冬の季節は体育の学習に「持久走」の単元があります。安波っ子は、やっぱり10人全員で走ります。授業の初めの部分は体育館で自分の速さ、ペースを確かめます。「35秒、36秒・・・」と先生のコールを聞きながら、走ります。その後、学校の外を走ります。「うがん橋」を折り返す約1500mのコースです。自分が走れるタイムを設定して走る「トリムマラソン」に挑戦です。

体育の学習は「持久走」です。学校から「うがん橋」折り返しを走ります。

